

## 令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字や言語の特徴、きまりを理解し、活用する力 【知識及び技能】</li> <li>テーマに沿って、書きたいことを決め、自分の考えが伝わるように効果的に書く力。 【思考力・判断力・表現力等】</li> </ul>	<p>【全国学力・学習状況調査 平均正答率 67.0%】</p> <p>「書くこと」が課題となっている。文章の中で習った漢字を使って書くことが苦手な様子が見られる。「言語の特徴や言葉の決まりに関すること」についても十分でないことが課題となっている。また、書くことを決めること自体に難しさがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語に触れる学習を行って、継続的に練習や活用を繰り返す。</li> <li>書きたいことを決めるときは、イメージマップや表などを使って、書きたいことのイメージを広げたり整理したりする。必要に応じて材料集めを先に行いながら、書きたいことを決める。</li> <li>文章や表現の効果的な書き方のポイントを具体的にして示す。情報と関連付けて整理しながら書くようにするなど、見通しをもって書けるように指導の工夫をする。</li> <li>主語・述語、話の順序、指示語、意見と理由、根拠と区別、話の中心、段落のつながり、文章の構造など、基本的な事柄を確実に押さえ、論理的に考える指導をする。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の様々な特性を理解して資料の内容を読み取り、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。 【知識・技能】</li> <li>社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考え、適切に表現する力を養う。 【思考力・判断力・表現力等】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容について、知識の定着が十分でない部分が見られる。その理由として、学年間や単元間の学習内容を系統立てて理解できていないことが考えられる。</li> <li>写真や図、表などの資料の読み取りにおいて、複数ある資料の中から、知りたいことや調べる目的に応じて適切な資料を選ぶことが難しいという課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年間や単元間の内容の関連を意識付けるために、単元や授業の冒頭に、前学年や既習単元の関連内容を確認する時間を適宜設ける。</li> <li>調べる内容に応じて適切な資料を提示するとともに、「地図では、位置関係や分布の様子が分かりやすい」といった、資料ごとの特徴を授業の中で押さえる。</li> <li>算数科の領域D「データの活用」と関連付けて、社会科の学習内容に関連した資料を算数科で扱ったり、社会科の授業内で、算数科で学習した資料の特色を確認したりして、資料ごとの特徴を理解できるようにする。</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的事象について、主体的に問題解決しようとする態度を養う。</li> </ul> <p>【学びに向かう力・人間性等】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の種類に応じて、どのような特徴を読み取ことができのが理解し、資料の特性に留意した読み取り方を身に付ける必要がある。</li> <li>学習したことを自己の生活やこれからの生き方に生かしていく態度を身に付ける必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート等で、複数ある資料から適切なものを選んだり、一つの事象について二つの資料を関連付けて読み取ったりする課題に取り組む。</li> <li>学習内容が実際に生かされている事例を資料で紹介し、学習が身近な生活につながっていることが実感できるようにする。</li> </ul>
--	--	---	---

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<p>B 図形領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図形の形や大きさが決まる要素と図形の合同の理解</li> <li>多角形についての簡単な性質の理解</li> <li>直線の平行や垂直の関係について理解すること。</li> <li>平行四辺形、ひし形、台形について知ること。</li> </ul> <p>C 測定領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長さの単位及び重さの単位について知り、測定の意味を理解すること。</li> <li>長さや重さについて、適切な単位で表したり、およその見当を付け計器を適切に選んで測定したりすること。</li> </ul> <p>【知識及び技能】</p> <p>B 図形領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すこと。</li> </ul>	<p>全国学力・学習状況調査 【平均正答率 64.0%】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校別解答状況整理表と学習評価等から分析した結果、B 図形領域と C 測定領域が課題である。</li> <li>B 図形領域では、平行四辺形の作図の行程等についての理解できていなかった。</li> </ul>	<p>B 図形領域の指導改善・指導工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平行といった直線の位置関係に焦点化したとき、平行が何組あるかに着目することで、図形を分類することが可能になる。四角形を取り上げ、一組、二組ある四角形の分類させる指導が必要。図形を構成する要素である辺の長さや角の大きさに着目させ、平行四辺形の性質やひし形の性質を理解させる指導の工夫が必要である。</li> <li>図形を構成する要素及び図形間の関係について、図形の構成の仕方を考えたり、図形の性質について更に考察したりすることに取り組む。</li> <li>多角形については、図形を構成する辺や角などの要素に着目して図形を弁別させ、理解させる。</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

	<p>C測定領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身の周りのものの特徴に着目し、単位の関係を統合的に考察すること。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>C測定領域では、はかりの目盛り等が理解できていなかった。特に以上の2点が課題である。</li> </ul>	<p>C測定領域の指導改善・指導工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重さについて、単位となる重さの幾つかで測定できることを理解できるようにする。そして、日常生活における体重の測定、食品の買い物などで、計器を用いてもの重さを測定することを見聞きする経験や、1kgの重さの具体物を手で持ち上げるなどの体験を通して、基本的な量の大きさについての感覚を豊かにする取り組みを工夫する必要がある。</li> </ul>
--	--	--	---

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然事象に対する基本的な概念や知識、規則性の理解する力。</li> </ul> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観察・実験の結果を解釈し、結論を導く力</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然事象から、問題を見付け、予想を立て、実験方法を考える過程が身に付いていない。</li> <li>観察や実験等の学習には意欲的に取り組むが、その方法や結果を基に考察していくことに課題がある。</li> <li>学習を通して得た知識を、日常生活や他教科・他の単元で生かそうとできていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入時に学習内容に関する体験をさせたり、教具を工夫したりして、問題作りをする機会を増やす。</li> <li>観察、実験の結果から自分の考えをまとめさせる。結果と考察の違いを明確にし、観察や実験の結果から導いた自分の考えをノートに書かせる。それを基に話し合う。</li> <li>タブレット等を用いて意見を共有しやすくするなどして、友達の考えと比較したり、多様な考えを知ったりすることができるようになる。</li> <li>考察は、言葉、グラフや表等を使って表現させ、情報活用能力を養う。ICTを活用し、表現方法の選択肢を広げ、状況に合わせた最適な方法で表現できるよう配慮していく。</li> <li>身近な科学現象を取り上げ、関連動画を見せたり実験したりして、生活と学習内容をつなげられるようにする。</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験や活動によって、気付いたことや楽しかったことなどについて表現し伝え、自らの考えを深める力。 【思考力・判断力・表現力等】</li> <li>・具体的な活動や体験を通して、生活上必要な習慣や技能を身に付け、生活の中で生かす力。 【知識及び技能】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に対する児童の興味・関心・意欲の個人差が大きい。</li> <li>・観察している事象に対して、気づきはあるが、つぶやきや文章で表現することに課題がある児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な経験ができるように前年度の反省を生かした指導計画を立てる。学校探検などで他学年と交流するなど、校内の活動を更に充実させる。</li> <li>・気付いたことを表現する方法を指導し、友達に伝え合う場面を増やす。言葉、絵、動作、劇化などに加えタブレット端末など情報機器を活用した表現方法についても指導を行う。</li> <li>・気付いたことを日々の生活の中で、生かしていくように家庭と連携を取る。自らの学習を振り返り、自分自身の成長や今後の学習への意欲付けにつながるように指導を工夫する。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の表したいことを音楽で表現できる力。 【知識及び技能】</li> <li>・表現活動において、自分の思いや意図をもって演奏の良さを見出したり音楽を味わって聴いたりする力。 【思考力・判断力・表現力等】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや意図をもち、それを音楽で表現することや、演奏の良さを見いだしたり音楽を味わって聴いたりすることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が見通しをもったり活動を振り返ったりしながら学んだことや自分の変容を自覚したりできるよう発問を工夫したり、対話によって自分の考えをまとめたりできる学習形態の工夫をする。また、粘り強く、個に応じたきっかけと支援をする。</li> <li>・児童が自分なりのイメージや感情、生活や文化などと関連付けさせ、振り返ったり比較したりしながら、音楽的な見方や考え方を働かせられるようにする。</li> <li>・共通事項を手がかりに知覚から感受へのプロセスを大切にしながら音楽を聞く耳を育てる。</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようになる。【知識及び技能】</li> <li>・造形的なよさや美しさ、表したいことなどについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようになる。【思考力・判断力・表現力等】</li> <li>・つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。</li> </ul> <p>【学びに向かう力・人間性等】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材や粘土など、さまざまな材料に興味をもって製作に取り組むことができる児童が多い一方で、表したいことについて表し方を熟考したり、試行錯誤しながら表し方を探究したり、根気強く作品と向き合ったりする姿勢は不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの時間だけでなく、製作途中においても友達の作品を鑑賞する時間を設定し、幅広い表現に触れて自分の作品に生かせるようにする。</li> <li>・作品製作の前にアイディアスケッチをする時間を設け、表したいことについて熟考できるようにする。</li> <li>・作品が完成したら、タブレットで自分の作品を撮影させ、写真とともに振り返りを書かせることで、児童がいつでも自分の作品について振り返ることができるようになる。</li> <li>・「もくもくタイム」を設定し、学級全体が黙々と製作に取り組める時間を確保する。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣食住について、日常生活に必要な基礎的な知識と技術を獲得できるようになる。【知識及び技能】</li> <li>・実生活において課題を発見し、解決方法を考えることができるようになる。【思考力・判断力・表現力等】</li> <li>・課題の解決に主体的に取り組む姿勢を身に付けることができるようになる。【学びに向かう力・人間性等】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭生活において、自立的な経験が少ない。そのため、学校での実践が初めてになることが多い。</li> <li>・調理だけではなく、裁縫の実技において、必要に迫られる機会に乏しい。</li> <li>・生活様式が便利になり、自らが行わなくても生活できていることで、自分の生活に学習したことを生かすことが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に振り返りテストを行う。単元よりさらに細かく、学んだことを振り返る場を設けることで、より着実に知識の定着を図っていく。</li> <li>・宿題等で、実際に家で実習する機会を増やし、技能の定着を図っていく。</li> <li>・家庭科で学んだ内容を基に、他教科との連携を図る。家庭科は実生活で生かしていくことが重要であるため、宿題を含め家庭学習も大切にしていく。</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

			<ul style="list-style-type: none"> <li>難易度の高い課題に関して、顕著に学習意欲が低くなる傾向がある。学習意欲をもたせるために、周りの人に自分の意見を認めてもらえる場を置く設け、自己肯定感を大切にした授業を行う。</li> </ul>
--	--	--	--

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種の運動遊び・運動の楽しさに触れ、その行い方を知り、基本的な動きや技能を身に付けられるようにする。 【知識及び技能】</li> <li>自分の課題を見付け、その解決のために工夫して取り組むことができるようとする。【思考力・判断力・表現力等】</li> <li>日常的に運動に親しみ、身体を動かすことの楽しさや気持ちよさを感じながら、仲間と仲良く意欲的に運動することができるようとする。【学びに向かう力・人間性等】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力テスト実施による結果から、上体おこし(筋持久力)、20mシャトルラン(全身持久力)の結果の低下が見られる。ともに持久力に関する種目であり、課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>休み時間でもできるだけ外遊びをするように、言葉をかけ、運動量とその時間を確保する。</li> <li>体つくりの運動遊びやゲーム性のある活動を通して、コミュニケーションを必要とする運動に取り組ませる。また、勝敗の受け入れ方についても指導を行う。</li> <li>各種の運動遊び・運動の中で、様々な体の使い方を体験させ、多様な動きを育てる活動を多く取り入れるよう、授業方法を工夫する。</li> <li>学習カードや発問などを工夫したり、グループ編成して教え合いの学習を取り入れたりする。ICTを活用し、動画等で自分の動きを分析し、自分の課題がどこにあるのか気付かせ、スマルステップの手順を示しながら指導を行う。</li> <li>友達とコミュニケーションを取り合いながら、ゲームに参加したり、運動したりできるように学習形態を工夫する。</li> <li>十分な運動量を確保できるようにする。</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国際	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や基本的表現に慣れ親しみ、実際のコミュニケーションにおいて、活用できる基礎的な技能を身に付ける。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて自分の考えや気持ちなどを伝え合う。</li> </ul> <p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じて学習した語彙や表現を選択したり、自分の考えを付け加えたりしてコミュニケーションを取ることに課題がある。</li> <li>・文字の高さや形の違いを意識しながら、大文字・小文字を正しく書き分けることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のめあてを確認し、明確に児童に提示する。また、リフレクションカードでは、めあてと照らし合わせて自分ができたことや、課題を書きせるようする。</li> <li>・挨拶やレビュータイム、スマートトーク、チャンツ、フォニックス、メトロラーニングを活用し、繰り返し語彙や表現の練習をする。</li> <li>・必然性のあるコミュニケーションの場を設定し、積極性を養っていく。学習した単語や、文の練習を丁寧に行い、それを用いながら児童同士で関わりをもって進めていくアクティビティを取り入れていく。その際、児童の実態に合わせてペア、グループ、全体と活動体制を選択していく。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える力。</li> <li>・自己の生き方について考え方を深める学習を通して、道徳的諸価値を実現するための問題状況を把握し、適切な行為を主体的に選択し、実践できるような資質・能力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材と自分の生活を結び付けて考えることに課題がある。</li> <li>・教材では問題解決できるが、日常生活になると自分本位の考え方をしてしまうことが多い。</li> <li>・一般的な善悪の判断やるべき行動の選択はできている。その一方で、自分事として考えるには課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が道徳的な問題に対して自分事として考えることができるよう、導入では問題意識をもって主題に臨むことができるようする。</li> <li>・展開では、教材や人物への「自我関与」ができるように、体験的な活動を取り入れるなど仕掛けや手立てを工夫していく。</li> <li>・学年の実態に合わせた教材を選択し、ICTも活用して、自分事として考えを深められる授業改善をする。</li> <li>・導入場面で、日常に起こりえる問題や質問を投げかけることで、身边にも起こりうる問題だという意識をもたせるようする。</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な他者と協働する。</li> <li>・様々な集団活動の意識や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 【知識及び技能】</li> <li>・集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意志決定をしたりすることができるようとする。 【思考力・判断力・表現力等】</li> <li>・自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。 【学びに向かう力・人間性等】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動では指導の一貫性がとれず、適切な学級会の運営方法が見に付いていない。</li> <li>・話し合い活動の指導が充実していないため、話し合いの仕方や合意形成についての方法などが定着していない。</li> <li>・学校行事では計画や振り返りを十分に行うことができず、行事ごとのつながりを感じることができない児童が多い。</li> <li>・当番の役割が分かって、すすんで取り組むことができる児童もいるが、自分の欲求を優先して役割が後回しになって いる児童もいる。</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
<p>総合的な学習の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の枠組みを超えた探求の過程を通して、実社会・実生活における様々な課題解決に活用可能な生きて働く知識・技能。【知識・技能】</li> <li>実社会や実生活の中から問い合わせを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめて表現することができる力。【思考・判断・表現】</li> <li>探求的な学習に主体的に、共同的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度。【学びに向かう力・人間性】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実生活の中から問い合わせを見出し、自分で課題を見付けることができない。</li> <li>導入でのやる気が、継続できず、粘り強く探求的な学習を行えない児童がいる。</li> <li>調査活動は、インターネット検索に頼ってしまうことが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や教科につながる単元を設定することで、身近なことに問題意識をもてるようにする。</li> <li>問題解決、情報収集活動をする際、どのような方法が有効かを話し合い、取捨選択をする。</li> <li>iPadを活用することで、情報収集・情報処理能力を伸ばす。</li> <li>プレゼンテーションソフトを活用して発表する経験を積ませることで、表現力の育成につなげる。</li> <li>「自分には何ができるか」「何がしたいか」を児童が考え、話し合い、実践する形態の授業展開を多く取り入れていくことで、思考力やコミュニケーション能力の育成につなげていく。</li> </ul>